

# 検討部会の進め方・スケジュールについて

高齢者の生活実態に対応した住宅防火対策のあり方に関する検討部会（第1回）

## 1 高齢者の死者が発生した住宅火災の実態分析

- 火災報告データをもとに、出火原因、死者の発生した経過等の現状分析を行い、高齢者の死者が発生した住宅火災の特性と傾向を把握

## 2 高齢者の生活実態の把握

- 住宅火災による高齢者の死者の実態を踏まえ、全国の高齢者に対し、生活実態調査を実施し、高齢者の生活に潜む火災リスクを抽出

## 3 高齢者の生活実態等を踏まえた防火対策に関する検討

- 高齢者の生活実態等を踏まえた現行の住宅防火対策のあり方を検討
  - ・ 「7つのポイント」「住宅防火防災キャンペーン」等の充実化について
- 高齢者の生活実態等を踏まえた新たな住宅防火対策を検討
  - ・ 高齢者の生活に潜在する火災リスクを軽減する方策について
  - ・ 高齢者世帯に適した避難及び初期消火のあり方について

# 高齢者の生活実態調査の概要について

## 調査対象等

調査対象：全国の高齢者（65歳以上・世帯構成別）

調査人数：900人程度

調査人数構成	65～70歳	71～75歳	76～80歳	81歳以上
一人暮らし	50人	50人	50人	150人
高齢者のみ世帯	50人	50人	50人	150人
高齢者以外と同居世帯	50人	50人	50人	150人

## 高齢者の特性に関する調査

○身体状況等に関すること      ○身近な火災危険に関すること

歩行状況、喫煙の習慣や、火気器具の取り扱い状況及び使用年数など、生活特性に起因する火災リスクを把握する。

## 高齢者の住環境に関する調査

○生活環境に関すること      ○避難や初期消火に関すること

部屋の状況について調査し、避難障害や可燃物の集積状況を把握する。また、初期消火器具について、その設置状況や初期消火の体制について確認

## 高齢者の防火意識に関する調査

○その他防火意識について      ○今後の防火対策について

一人ひとりの防火意識について確認するとともに、ニーズに沿った防火対策を把握

# 生活実態調査における具体的な調査項目について

## 身体状況等に関すること：アンケート（案）⇒問1～問9

- 歩行状況について
- 火災予防対策に関するアドバイスを受ける機会の有無

## 身近な火災危険に関すること：アンケート（案）⇒問10～問28

- 火気の使用状況について
  - 日常的な火気（こんろ、ストーブ、喫煙等）の使用状況、頻度、注意している点、ヒヤリハットなど
- 配線器具、電気機器等の使用状況について
  - 機器の使用年数、維持管理の有無、注意している点など

## 生活環境に関すること：アンケート（案）⇒問29～問37

- 居室の環境→室内での生活用品の量、散乱状況など

## 避難に関すること：アンケート（案）⇒問38～問40

- 避難上の支障の有無、状況等について→居室内の物品の量
- 避難に関する備えの状況
  - 二方向避難の有無、事前に避難方法を定めているか、日常的な避難に関しての意識の有無

## 初期消火に関すること：アンケート（案）⇒問41～問45

- 初期消火器具等の設置状況について
  - 設置している消火器具の種別、設置位置、設置からの経過年数
- 消火器具等の使用方法の習熟度について

## 防火意識に関すること：アンケート（案）⇒問46～問52

- 住宅火災についての防火対策について→身を守る上で感じている不安
- 今後の防火対策について

## 第1回検討部会(令和2年8月〇〇日)

**高齢者の生活実態調査**・・・全国の高齢者を対象に委託調査により実施

【主な調査項目】

- ・高齢者の生活実態(生活習慣、居住環境、身体的特性)
- ・火気の取り扱い、製品の使用状況

## 第2回検討部会

- 高齢者の生活実態調査結果について
- 高齢者の生活実態を踏まえた住宅防火対策(案)
- 高齢者に適した避難及び初期消火のあり方について

## 第3回検討部会

- 報告書(案)のとりまとめ

## アウトプット(案)

- ① 高齢者の生活実態等を踏まえた現行の住宅防火対策の強化
- ② 高齢者の生活実態等を踏まえた新たな住宅防火対策